

二〇九四番

さ雄鹿をしかの 心相思こころあひおもふ 秋萩あきはぎの しぐれの降ふるに
散ちらくし惜をしも

二〇九五番

夕ゆふされば 野辺のへの秋萩あきはぎ 末うれわか若かみ 露つゆに枯かれけり
秋待あきまちかてに

二〇九六番

ま葛原くずはら なびく秋風あきかぜ 吹ふくごとに 阿太あだの大野おほのの
萩はぎの花散はなちる

二〇九七番

雁かりがねの 来鳴きなかむ日ひまで 見みつつあらむ この
萩原はぎはらに 雨あめな降ふりそね